

宮崎県感染症週報

宮崎県感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和6年第5週の発生動向

□ 全数報告の感染症 (5週までに新たに届出のあったもの)

- 1 類感染症：報告なし。2 類感染症：報告なし。3 類感染症：報告なし。
 4 類感染症：E型肝炎 1 例、つつが虫病 1 例。5 類感染症：侵襲性肺炎球菌感染症 1 例、梅毒 4 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
4類	E型肝炎	宮崎市	60歳代	男	—	肝機能異常
	つつが虫病	日南	60歳代	女	—	発熱、刺し口、発疹、咽頭痛、倦怠感
5類	侵襲性肺炎球菌感染症	延岡	80歳代	男	—	発熱、菌血症
	梅毒	宮崎市	10歳代	女	早期顕症梅毒 I 期	左顎下リンパ節腫脹
			20歳代	男	早期顕症梅毒 I 期	丘疹性梅毒疹
			20歳代	男	早期顕症梅毒 I 期	初期硬結
		40歳代	男	無症状病原体保有者	なし	

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

・定点医療機関からの報告総数は 4,122 人(定点当たり 80.9)で、前週比 115%と増加した。なお、前週に比べ増加した主な疾患はインフルエンザで、減少した主な疾患は咽頭結膜熱であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【新型コロナウイルス感染症】

報告数は 1,038 人(17.9)で、前週比 107%と増加した。日向(28.2)、延岡(25.1)、小林(24.5)保健所からの報告が多く、年齢群別は 15 歳未満が全体の約半数を占めた。

【インフルエンザ】

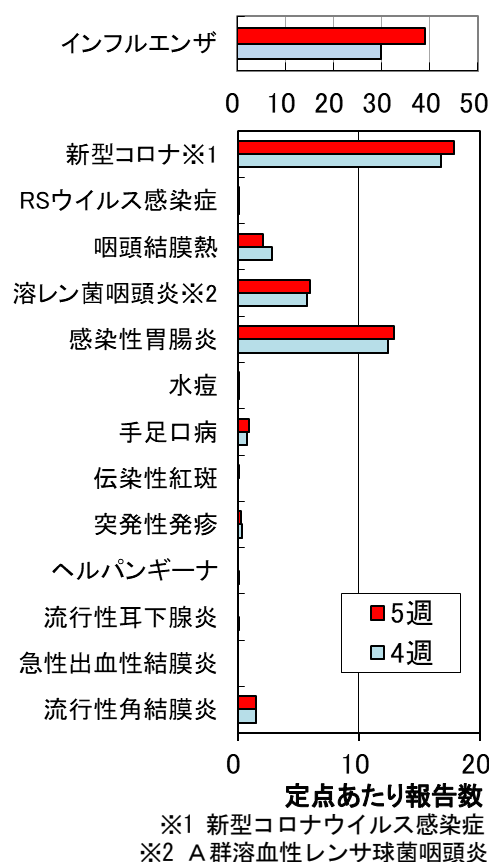
報告数は 2,270 人(39.1)で、前週比 131%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(17.1)の約 2.3 倍であった。中央(71.0)、宮崎市(48.4)、日向(46.8)保健所からの報告が多く、年齢群別は 15 歳未満が全体の約 8 割を占めた。

【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

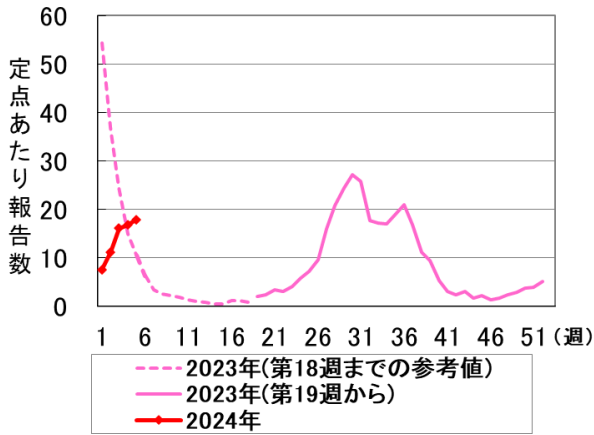
報告数は 216 人(6.0)で、前週比 105%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(2.0)の約 3.0 倍であった。日南(13.0)、中央(11.0)、宮崎市(8.8)保健所からの報告が多く、年齢群別は 5 歳から 6 歳が全体の約 3 割を占めた。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週 (計 15 週) の平均

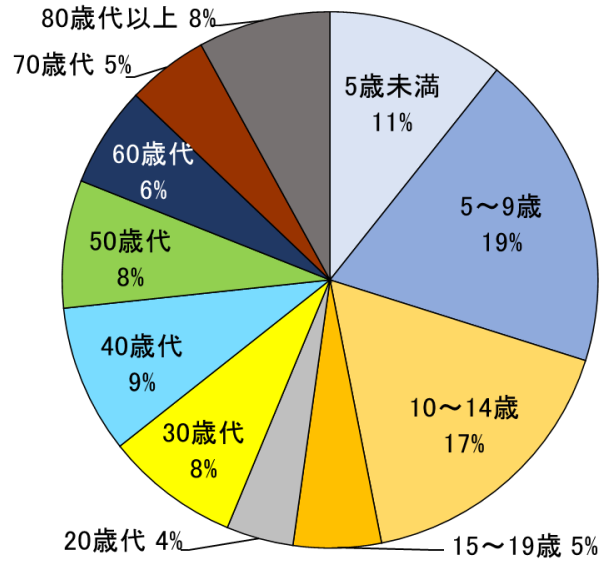
《前週との比較》



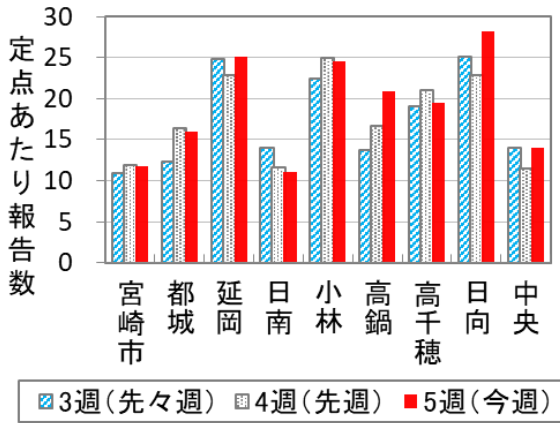
新型コロナウイルス感染症 発生状況



新型コロナウイルス感染症年齢群別グラフ(第5週)

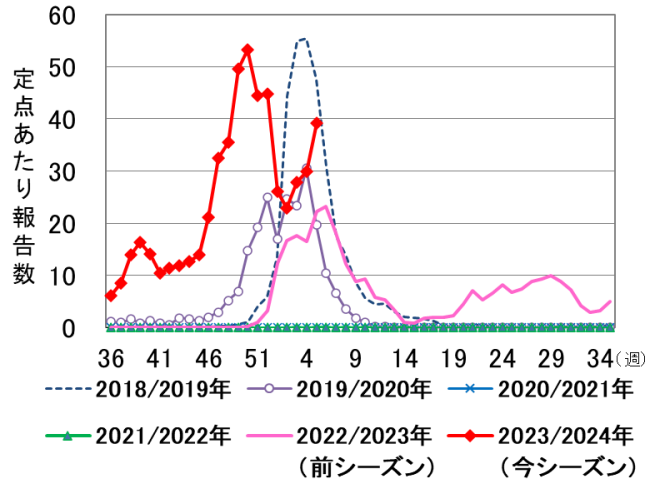


新型コロナウイルス感染症 保健所別推移(3週分)

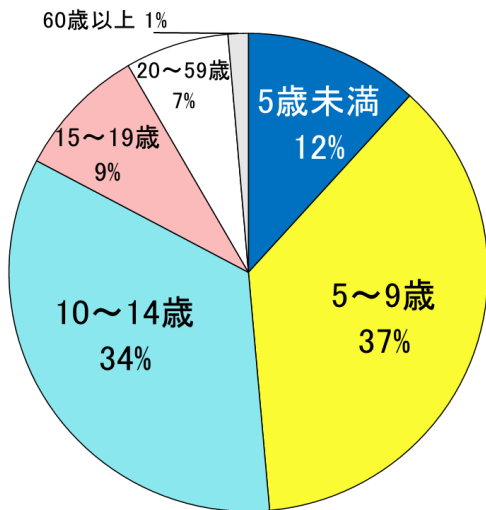


※新型コロナウイルス感染症の2023年第1週～第18週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値

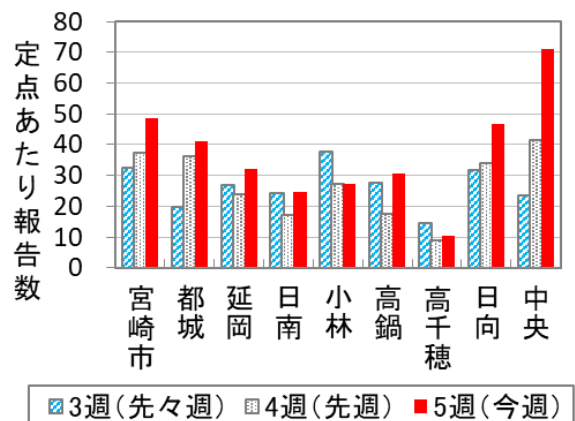
インフルエンザ 発生状況



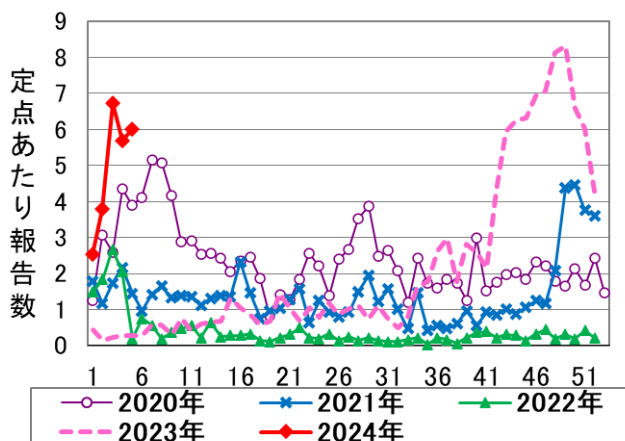
インフルエンザ年齢群別グラフ(第5週)



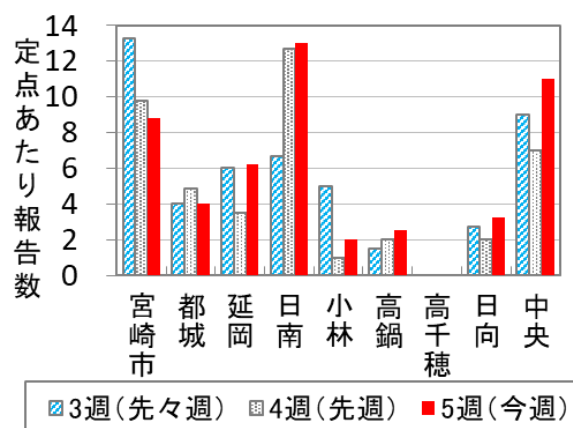
インフルエンザ 保健所別推移(3週分)



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 発生状況



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★ なし

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	インフルエンザ(48.4)、 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8.8)
都城	インフルエンザ(41.0)
延岡	インフルエンザ(32.3)
日南	インフルエンザ(24.6)、 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(13.0)
小林	インフルエンザ(27.3)、感染性胃腸炎(23.0)
高鍋	インフルエンザ(30.5)
高千穂	インフルエンザ(10.5)
日向	インフルエンザ(46.8)
中央	インフルエンザ(71.0)、咽頭結膜熱(9.0)、 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(11.0)

* 流行警報レベル開始基準値 *

- ・インフルエンザ(30)
- ・咽頭結膜熱(3)
- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8)
- ・感染性胃腸炎(20)

* 流行注意報レベル基準値 *

- ・インフルエンザ(10)

□病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部 令和6年2月5日までに検出）

★細菌

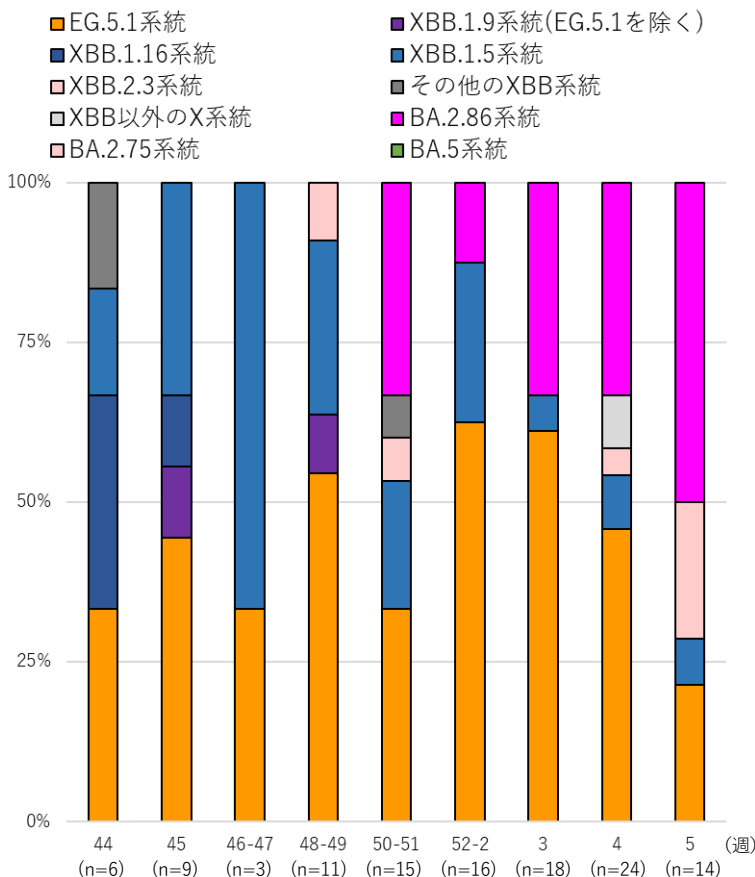
同定細菌名	年齢	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
Salmonella Thompson(O7:k:1,5)	5~9歳	女	2023.12.21	発熱、頭痛、胃腸炎(水様性下痢、嘔気、嘔吐、腹痛、血便)	便	2023.12.28

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
Influenza virus A H3	50歳代	男	2023.12.11	インフルエンザウイルスA型、38.5°C、 咳、鼻水、倦怠感	鼻咽頭ぬぐい液	2024.01.31
Influenza virus A H3	5~9歳	女	2023.12.11	インフルエンザウイルスA型、38.3°C、 下気道炎(気管支炎)	鼻汁	2024.01.31
Influenza virus A H1pdm09	0~4歳	女	2023.12.18	インフルエンザウイルスA型、38.8°C、 気管支炎	咽頭ぬぐい液	2024.01.31
SARS-CoV-2	5~9歳	女	2024.01.15	COVID-19感染症、39.3°C、胃腸炎、 嘔気、嘔吐	鼻汁	2024.01.25

□新型コロナウイルスゲノム解析結果情報（衛生環境研究所微生物部）

新型コロナウイルスゲノム解析週と検出系統の割合



○第5週で BA.2.86 系統は 50%、XBB 系統が 50%を占め、EG.5.1 系統（XBB.1.9.2 の子孫株）が約 21%を占めた。

※BA.2.86 系統は BA.2 系統の亜系統で、スパイクタンパク質は BA.2 系統に比較して 30 以上、XBB.1.5 系統に比較して 35 以上のアミノ酸の違いがある。

「X」で始まる名前は遺伝子組換えで発生した系統に付けられる。

XBB は BJ.1 (BA.2.10.1 系統) / BM.1.1.1 (BA.2.75.3 系統) の組換え株である。

ゲノム解析は概ね前週の検体を用いて実施している。なお、解析検体数が多い場合は割合の変動が大きくなる。

衛生環境研究所においては、県内医療機関の協力のもと、新型コロナウイルスの PCR 陽性となった検体を毎週収集し、ゲノム解析を実施している。

全国 2024 年第 4 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	212 例				
3類感染症	細菌性赤痢	2 例	腸管出血性大腸菌感染症	36 例		
4類感染症	E型肝炎	13 例	A型肝炎	1 例	エムボックス	3 例
	回帰熱	1 例	つつが虫病	6 例	デング熱	3 例
	日本紅斑熱	1 例	マラリア	1 例	レジオネラ症	19 例
5類感染症	アメーバ赤痢	11 例	ウイルス性肝炎	1 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	36 例
	急性弛緩性麻痺	2 例	急性脳炎	10 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	3 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	50 例	後天性免疫不全症候群	14 例	ジアルジア症	1 例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	8 例	侵襲性肺炎球菌感染症	44 例	水痘(入院例)	4 例
	梅毒	146 例	播種性クリプトコックス症	2 例	破傷風	3 例
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例	百日咳	8 例		

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 109%と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患は新型コロナウイルス感染症、RSウイルス感染症及び手足口病で、減少した主な疾患は水痘であった。

インフルエンザの報告数は 94,694 人(19.2)で前週比 108%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(15.7)の約 1.2 倍であった。福岡県(34.9)、沖縄県(31.8)、宮崎県(29.9)からの報告が多く、年齢群別では 15 歳未満が全体の約 8 割を占めた。

新型コロナウイルス感染症の報告数は 73,607 人(14.9)で前週比 122%と増加した。福島県(23.9)、愛知県(21.2)、茨城県(21.2)からの報告が多く、年齢群別では 15 歳未満が全体の約半数を占めた。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均

宮崎県 感染症情報

(71定点医療機関)

2024年 第05週(01月29日～02月04日)

疾病名		第04週	第05週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	1732	2270	775	410	226	123	109	183	21	281	142
	定点当り	29.86	39.14	48.44	41.00	32.29	24.60	27.25	30.50	10.50	46.83	71.00
新型コロナウイルス感染症	報告数	974	1038	188	160	176	55	98	125	39	169	28
	定点当り	16.79	17.90	11.75	16.00	25.14	11.00	24.50	20.83	19.50	28.17	14.00
RSウイルス感染症	報告数	3	1	1								
	定点当り	0.08	0.03	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	101	75	25	10	7	6	7	7		4	9
	定点当り	2.81	2.08	2.50	1.67	1.75	2.00	2.33	1.75	0.00	1.00	9.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	205	216	88	24	25	39	6	10		13	11
	定点当り	5.69	6.00	8.80	4.00	6.25	13.00	2.00	2.50	0.00	3.25	11.00
感染性胃腸炎	報告数	448	464	103	82	36	48	69	70	10	31	15
	定点当り	12.44	12.89	10.30	13.67	9.00	16.00	23.00	17.50	10.00	7.75	15.00
水痘	報告数	4	2	1				1				
	定点当り	0.11	0.06	0.10	0.00	0.00	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	28	33	15	10			3	2		2	1
	定点当り	0.78	0.92	1.50	1.67	0.00	0.00	1.00	0.50	0.00	0.50	1.00
伝染性紅斑	報告数		4	4								
	定点当り	0.00	0.11	0.40	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	12	10	2	2	1			3		2	
	定点当り	0.33	0.28	0.20	0.33	0.25	0.00	0.00	0.75	0.00	0.50	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	1										
	定点当り	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	2										
	定点当り	0.06	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	9	9	3	6							
	定点当り	1.50	1.50	1.00	3.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点:58、小児科定点:36(インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2024年 第1週～5週 保健所受理分)

2類感染症	結核	6例		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	1例		
4類感染症	E型肝炎	1例(1)	つつが虫病	12例(1)
				レジオネラ症
5類感染症	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4例
	梅毒	22例(4)		侵襲性肺炎球菌感染症

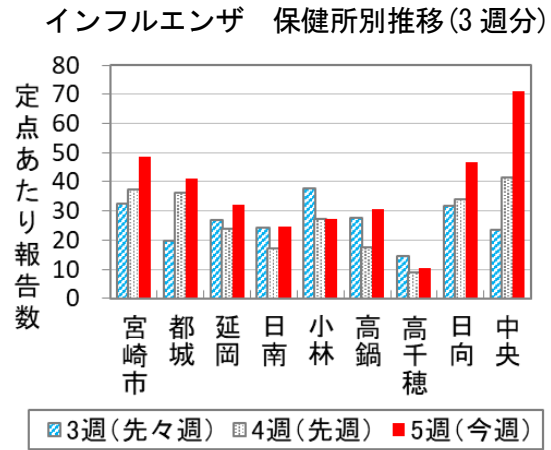
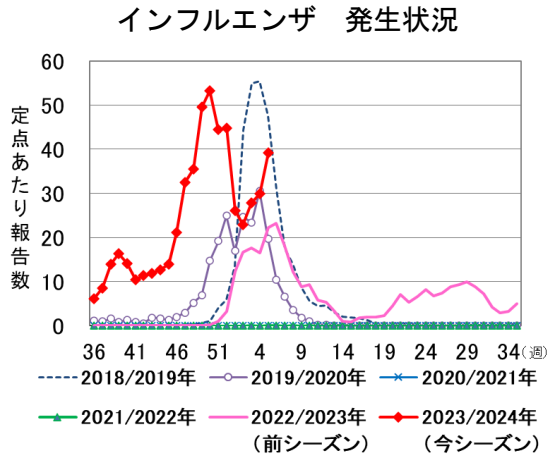
()内は今週届出分、再掲

インフルエンザ情報《県内第5週、全国第4週（再掲）》

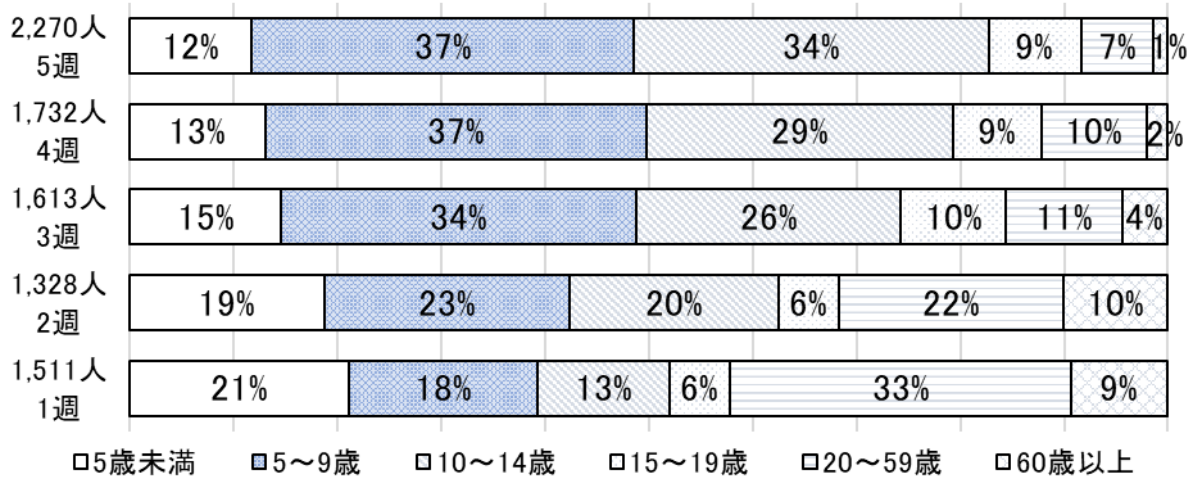
□ 県内第5週インフルエンザ発生動向

1月29日～2月4日までの1週間で2,270人(39.1)の報告があった。前週比131%と増加し、例年同時期の定点あたり平均値*(17.1)の約2.3倍であった。

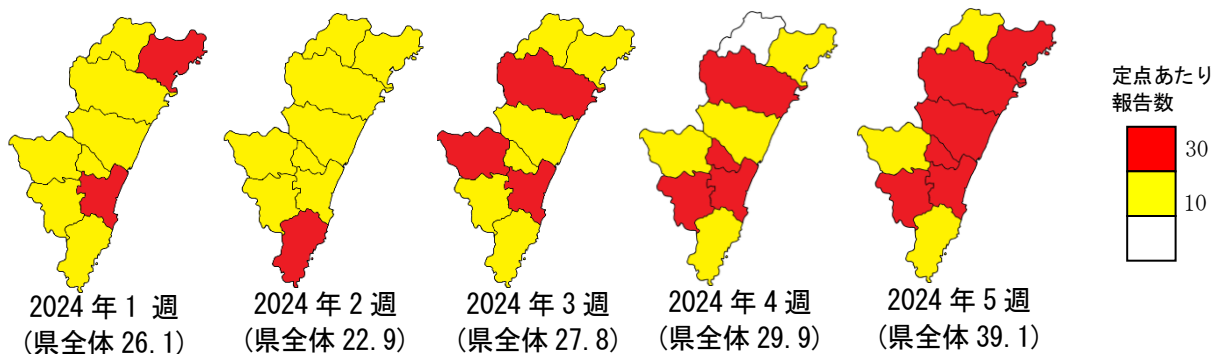
* 過去5年間の当該週、前週、後週（計15週）の平均値



年齢群別割合の推移(2024年第1週～第5週)



保健所別インフルエンザ流行レベルマップ 2024年第1週～第5週



□ 全国第4週インフルエンザ発生動向

1月22日～1月28日までの1週間で94,694人(19.2)の報告があった。前週比108%と増加し、福岡県(34.9)、沖縄県(31.8)、宮崎県(29.9)からの報告が多かった。年齢群別では5歳未満が全体の14%、5-9歳が36%、10-14歳が26%、15-19歳が7%、20-59歳が14%、60歳以上が3%であった。